

総代並びに組合員 各位

相 双 五 城 信 用 組 合

第65期事業報告書等の一部訂正について

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成28年6月17日に開催いたしました通常総代会資料「第65期 事業報告」及び、組合員の皆様へご送付いたしました「第65期 事業のご報告並びに出資配当金通知書」の記載内容の一部に誤りがございました。

謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきますのでお知らせいたします。

記

1. 「第65期 事業報告」

1 ページ 第65期 事業報告 1. 事業概況 (1) 事業概況等

正	誤
<p>(12行まで略)</p> <p>以上のような中で、当組合は地域密着型の業務推進を着実に実践しながら、経営基盤の強化、内部管理態勢の整備・充実に努めて参りました。その結果、資金量におきましては、773億2千9百万円、前期比12億5千1百万円の増加、融資量におきましては、344億4千7百万円、前期比9億4千8百万円の増加、業務純益におきましては、3億1百万円、前期比2億9千3百万円の増益、コア業務純益におきましても1億3千1百万円、前期比1億2千3百万円の増益となり、平成27年度純利益目標3億4千万円に対しまして、当期純利益8億7千9百万円を計上することが出来ました。更に、金融機関の健全性の基準となります自己資本比率につきましても、<u>49.02%</u>と高水準を維持することが出来ました。</p>	<p>(12行まで略)</p> <p>以上のような中で、当組合は地域密着型の業務推進を着実に実践しながら、経営基盤の強化、内部管理態勢の整備・充実に努めて参りました。その結果、資金量におきましては、773億2千9百万円、前期比12億5千1百万円の増加、融資量におきましては、344億4千7百万円、前期比9億4千8百万円の増加、業務純益におきましては、3億1百万円、前期比2億9千3百万円の増益、コア業務純益におきましても1億3千1百万円、前期比1億2千3百万円の増益となり、平成27年度純利益目標3億4千万円に対しまして、当期純利益8億7千9百万円を計上することが出来ました。更に、金融機関の健全性の基準となります自己資本比率につきましても、<u>49.01%</u>と高水準を維持することが出来ました。</p>

※下線部分が変更箇所です。

2. 「第65期 事業のご報告並びに出資配当金通知書」

ごあいさつ

正	誤
<p>(19行まで略)</p> <p>以上のような中で、当組合は地域密着型の業務推進を着実に実践しながら、経営基盤の強化、内部管理態勢の整備・充実に努めて参りました。その結果、資金量におきましては、773億2千9百万円、前期比12億5千1百万円の増加、融資量におきましては、344億4千7百万円、前期比9億4千8百万円の増加、業務純益におきましては、3億1百万円、前期比2億9千3百万円の増益、コア業務純益におきましても1億3千1百万円、前期比1億2千3百万円の増益となり、平成27年度純利益目標3億4千万円に対しまして、当期純利益8億7千9百万円を計上することが出来ました。更に、金融機関の健全性の基準となります自己資本比率につきましても、<u>49.02%</u>と高水準を維持することが出来ました。</p>	<p>(19行まで略)</p> <p>以上のような中で、当組合は地域密着型の業務推進を着実に実践しながら、経営基盤の強化、内部管理態勢の整備・充実に努めて参りました。その結果、資金量におきましては、773億2千9百万円、前期比12億5千1百万円の増加、融資量におきましては、344億4千7百万円、前期比9億4千8百万円の増加、業務純益におきましては、3億1百万円、前期比2億9千3百万円の増益、コア業務純益におきましても1億3千1百万円、前期比1億2千3百万円の増益となり、平成27年度純利益目標3億4千万円に対しまして、当期純利益8億7千9百万円を計上することが出来ました。更に、金融機関の健全性の基準となります自己資本比率につきましても、<u>49.01%</u>と高水準を維持することが出来ました。</p>

※下線部分が変更箇所です。

本件に関するお問い合わせは、相双五城信用組合 総合企画部 (0244-36-5561) までお願いいたします。

以 上